

調 査 活 動 実 績

氏名 三石 文隆

平成 28 年度の政務調査に関する主な活動の実施状況は、次のとおりであります。

1. 教育の質的向上、教育・文化の振興に関する調査研究等
2. 南海トラフ地震対策に関する勉強会・調査研究
3. 行財政改革に関する調査研究等
4. 健康政策に関する調査研究
5. 農林水産業・商工業・中小企業振興に関する調査研究等
6. 陸・海・空の交通基盤の充実にに関する調査研究
7. 観光振興の推進に関する調査研究等
8. 文化財の保存と有効活用に関する調査研究
9. 中山間地域の活性化、基盤整備に関する調査研究等
10. 高速道路や地方道の財源確保に関する勉強会、地域の道路ネットワーク整備等に関する調査研究
11. 国際交流・文化交流促進に関する調査研究
12. 雇用の確保に関する調査研究
13. 少年非行防止対策、交通安全対策に関する調査研究
14. その他の県政全般の課題に関する調査研究

本年(28)度の調査項目は以上であります。政策の重要性に鑑み、次の事項について重点的に調査を行いましたので、その概要を報告します。

○教育政策について

第2期高知県教育振興基本計画では、郷土への愛着と誇りを持ち高い志を掲げ日本や高知の未来を切り拓く人材、及び学ぶ意欲にあふれ心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたちの育成を基本理念としています。

この基本理念の実現に向けた取り組みが教育委員会、学校現場などの関係者との連携のもとで積極的に進められており、学力向上面では着実に成果が現れてきています。

一方、子どもの貧困は本県においても深刻な社会問題となり、家庭の経済状況を背景とする学力の未定着、いじめや不登校、虐待や非行といった困難な課題に直面しています。

こうした子どもたちを取り巻く現状の把握のため、教育委員会や学校現場の関係者との意見交換を精力的に重ねるとともに、問題解決に向けさまざまな提言を行ってきました。

引き続き、当該基本計画に基づく施策の進捗状況の把握に努め、教育委員会に対して機会を捉え意見を述べていきます。

○健康づくり対策の推進について

県民の誰もが住み慣れた地域で、健康で安心して暮らしていくことのできる県づくりを目指し、さまざまな政策が展開されています。

特に壮年期の死亡率の改善には、がんの早期発見、早期治療が極めて重要であることから、がん検診の意義、大切さを県民にお知らせするとともに、検診を受けやすい体制の整備が求められています。

がん検診の受診率は年々上昇の傾向にあります。がん検診をはじめとするがん対策の一層の推進に関する調査、研究を行いました。

○文化財の保護と有効活用について

熊本地震における熊本城の被災状況や平成29年度に開幕する「志国高知幕末維新博」を踏まえ、高知城などの歴史的文化財の耐震化の状況等について調査、研究を行いました。

また、高知城歴史博物館の開館を機会として、文化財の持つ意義の重要性を再認識するとともに、文化芸術を通じた県民の心の豊かさの向上に資するため、文化財の有効活用方法について調査、研究を行いました。